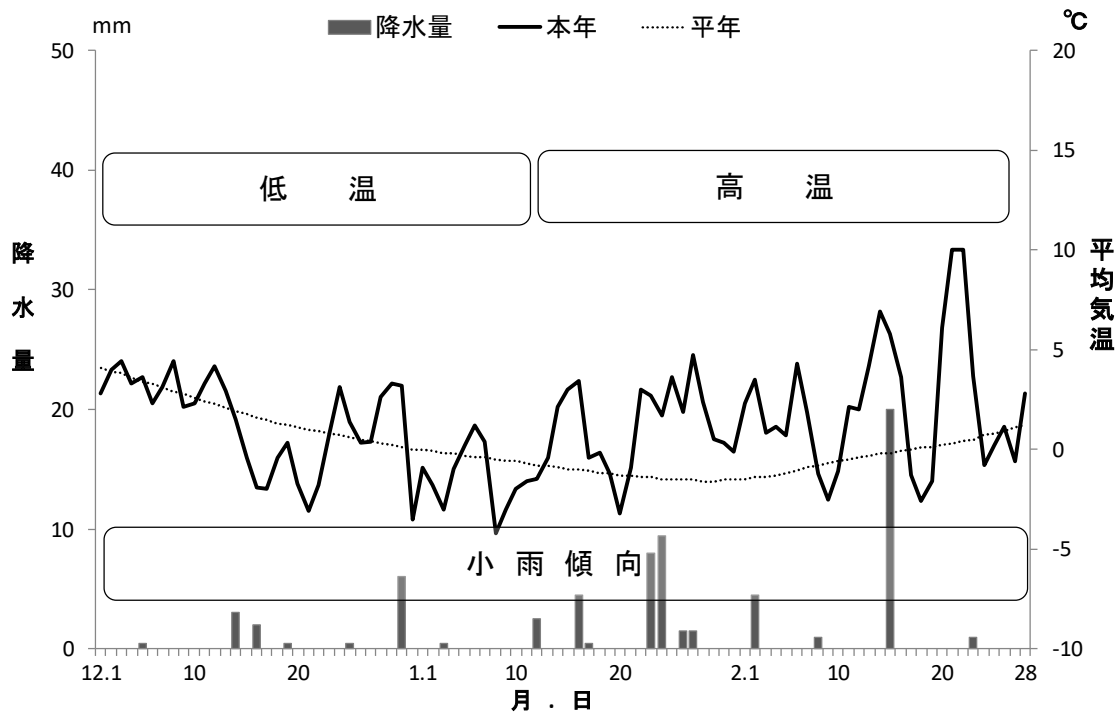


## 令和3年 作物技術情報第3号

### (麦の1回目の追肥作業と、水稻の浸種作業の注意事項について)

#### 1 気象状況

令和2～3年気象経過(穂高アメダス 12月1日～2月28日)



- ・ 1月上旬まで低温傾向でしたが、1月中旬以降は高温で推移しています。3月の気温も高いと予想されています。
- ・ 断続的に降雨・降雪があるものの、降水量は少ない状況です。

## 2 現在の麦の生育状況と一回目追肥の注意事項

- ・ 2月初旬の調査では、10月下旬播種を除き、生育の進みはやや遅れており、茎数はやや少ない状況でしたが、1月中旬からの高温で生育は急速に回復しています。特に11月上旬までに播種された圃場では、生育が過剰気味の圃場も見られます。
- ・ このため追肥にあたっては、再度生育状況を確認していただき、過剰気味の圃場では追肥量をやや控える、追肥時期をやや遅らせる等の生育にあった追肥をお願いいたします（追肥量や追肥時期の目安は技術情報2号をご参考下さい）。

## 3 水稻の浸種作業について

- ・ 水稻の浸種作業の時期が近づいています。浸種作業は育苗の重要なポイントです。基本事項を守り、育苗に向けた種子の準備を進めるようご指導ください。別添「水稻種子の取り扱いは丁寧に」もご参考下さい。